

交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～

学習療法について

◆認知症を治すことは難しいが進行を遅らせることへの取り組みとして、データーの改善が目的ではなくQOLの改善を目的とした取り組みとして行われるとよい。
◆職員や家族の気づき、情報の共有ができるようになることはよいこと
◆楽しいこと、うれしいことで脳が活性化。学習療法だけでなく他の取り組みでもできるのではないかと思った。
◆学習療法を通して、その人のできるところを見る、スタッフの対応がスムーズになる、家族の困り事がわかるのは良い。
◆学習療法は一つのツールとして利用。皆が同じ方向性を持って支援していくための一つの手段であると感じた
◆成果がみられることによって、職員も家族も良いほうに変化していることに、興味がわいた



認知症カフェ

「よってっ亭」
の取り組みをより
多くの人に知って
もらえるとよい。



「ひと言から始まる
ケアプラン」。身近
な目標設定、達成で
きた時の喜びにつ
ながるというこ
とが、ケアマネとして
大変勉強になった。



グループホームの取り組みについて

◆本人の声が実現できるようになるには何が必要なのかという言葉(要望)を対話の中から引き出し、必要なものを積み重ねて生まきてきているのかと感じた。
◆本人がどのように暮らしていきたいのかアセスメントすることが大事なんだと思った。
◆自分の得意分野で生きがいを見つけて頑張って生活をしておられるのがとても良い。
◆「三者の笑顔」ということがとても良いと感じた。
◆安心して過ごせる、その人らしく生活できるようにケアすることが大切だと感じた。
◆看護職が不在であるのに看取りにも取り組まれているのはすごいと感じた
◆グループホームでの防災訓練の実施、・地域の方とのつながりがあり素晴らしいホームだと感じた。



歯科医師のかかわりはどう
か。認知症の方に対して健
診や口腔ケアを導入してい
る施設はどのくらいあるの
か知りたいと思った。

支援者自身もつら
くならないよう地
域ぐるみで支えて
いく必要がある。
地域づくりが大事

デイサービスやグル
ープホームの地域での取
り組みをうかがって
「いいな」と思い、
「できるところから頑
張りたいな」とやる気
をもらいました



看護師として、他施設
の情報を得て他に伝達
したり、薬局でも今回
の学びを業務に活かし
ていきたい。

「認知症を治すことは難しいけれど、進行をゆるやかにし、今の機能ができるだけ維持していくか
かわりが大事。認知症ケアの最前線で奮闘されている介護職員さんの声がたくさん聞けました」

「27年度の研究会は、テーマごとに事例を出しながら多職種連携について考えていきましょう！」

ご参加ください！ こうとう地域チームケア研究会

お知らせメールの
登録をお願いします

こうとう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内
をメールでお知らせします。ご希望の方は、① お名前 ② ご所属
③ ひとこと をいれて事務局までメール送信してください
☆事務局 (mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp



次回は…平成27年5月14日(木) 18:30~20:30
テーマ：『その人の望む暮らしを支える訪問看護のケア』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：第5地区訪問看護ステーション連絡協議会

*申し込み不要、当日会場へお越しください

問い合わせ先：こうとう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

H P 「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧いただけます。黄色矢印をクリック

